

川口市業務・システム刷新化事業 刷新化ビジョン策定 IT推進会議作業(1)

“緑うるおい 人 生き生き 新産業文化都市 川口”



2005/9/28

刷新化ビジョン策定（１）

- **すべての部長が参画して全員の思いを共有するかたちでビジョンを策定する**
- **9月28日 思いの土台づくり**
 - **午前 市長のメッセージを受けIT推進会議で思いの土台作り（全市）**

以降の作業

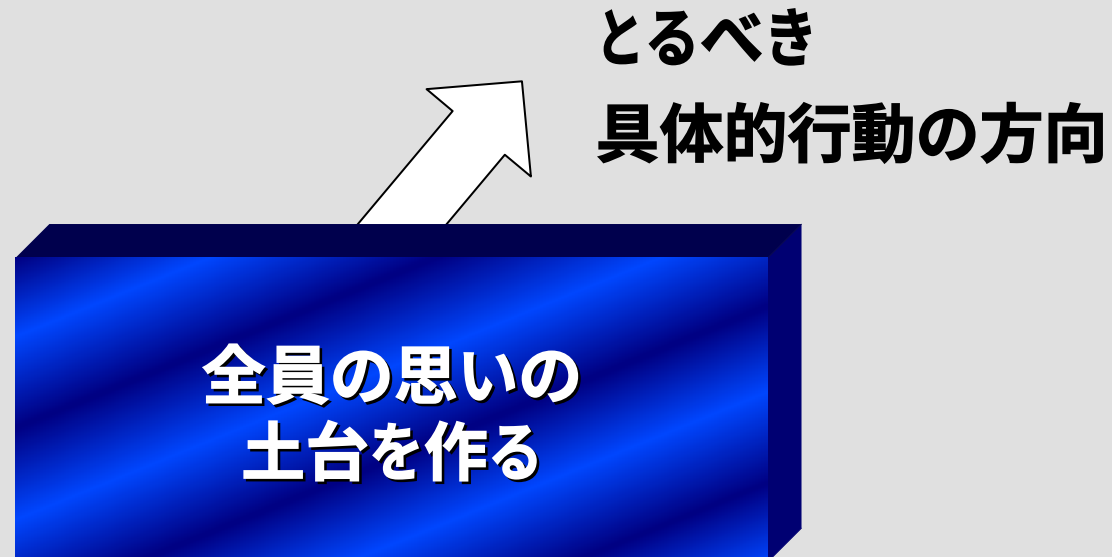
- **9月28日 午後**
 - **IT推進会議のまとめを受けてIT推進委員会の思いの土台作り（全市）**
- **9月中 IT推進委員会の結果を受けて市長との思いの土台確認**
- **10月中旬 具体的行動の方向づくり**

刷新化ビジョン策定

№1 思いの土台づくり (Ⅰ-1)

思いの土台をつくる環境分析

各部長が現在おかれている内部（市域内、市役所内）および外部（市域外、市役所外）の状況を共有することにより、とるべき具体的行動の方向を分析するための思いの土台を作り共有する。



環境（置かれている状況）分析の作業ポイント

- **作業ポイント（作業上いつも注意すること）**
 - **Q（品質）**：環境（置かれている状況）がどのように変化しているかの情報が全員に十分に共有されること。
 - **C（コスト）**：全員が一同に集まることによって後で余計な根回しの時間をかけないように十分に意見を気楽に出すこと。
 - **T（時間）**：1日以内に全員の思いの土台を作るために時間管理に注意すること。

環境分析の成功のポイント

- **新鮮な環境情報の共有が必要**
 - 作業の過程でいかに新鮮な環境情報が共有されるように準備するかがこの分析の成否を決める。
 - 2次情報（新聞、雑誌などの情報）でなく1次情報（現場の生情報）をいかに多く日頃から入手するチャンネルがあるかがポイント。
- **全員が本音の意見を紙に書いて示す。**
 - 発言形式では、必ずしも全員の意見の発表の機会がないので、紙に書いて全員の意見を聞き出す。

環境（置かれている状況）分析のポイント

新鮮な外部環境情報



本音の
全員の意見



新鮮な内部環境情報

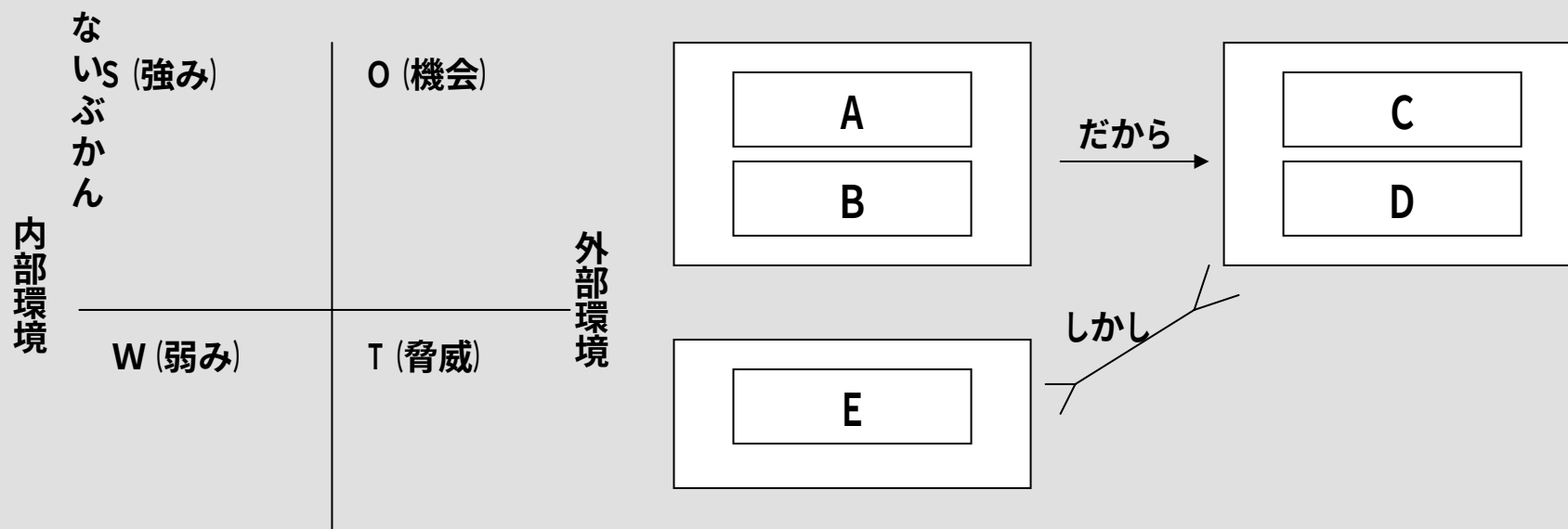
環境分析手法の概略

- **SWOT分析**
 - 市役所、市域の内部環境の「強み(S)」、「弱み(W)」、外部環境の「機会(O)」、「脅威(T)」を十字の図に示した分析。
- **カード合わせ**
 - 紙に書かれた思いをまとめるために、カード合わせの手法を利用。

環境分析手法の概略

SWOT

カード合わせ



環境分析手順の概略

- **ブレインストーミング (気づきのための頭の整理)**
 - 外部、内部環境の新鮮な情報を全員に発信・共有する。(通常口頭のみ)
- **SWOTカード分析**
 - ブレインストーミングを紙に書いて行う。各個人の意見をカードに示し、これを整理して全員で共有する。カード相互関係にシナリオをつける。

環境分析手順の概略

ブレインストーミング



個人別SWOTカードの作成



SWOTカード合わせ、整理



シナリオの作成

ブレインストーミング（気づきのための頭の整理）

- **ブレイン（頭脳）で問題にストーム（突撃）する**
 - （1938年米国 BBDO アレックス・F・オズボーン）
- **あるテーマをめぐって自由奔放に意見やアイデアを出し合う会議**
- **原則**
 - 批判厳禁・・・どんな意見が出ても批判しない。
 - 自由奔放・・・とっぴな意見でもかまわない。
 - 量を求める・・・量の中から質の良いものが生まれる（出席者全員が発言）
 - 便乗発展・・・出たアイデアを結合し、改善発展

ブレインストーミング（気づきのための頭の整理）

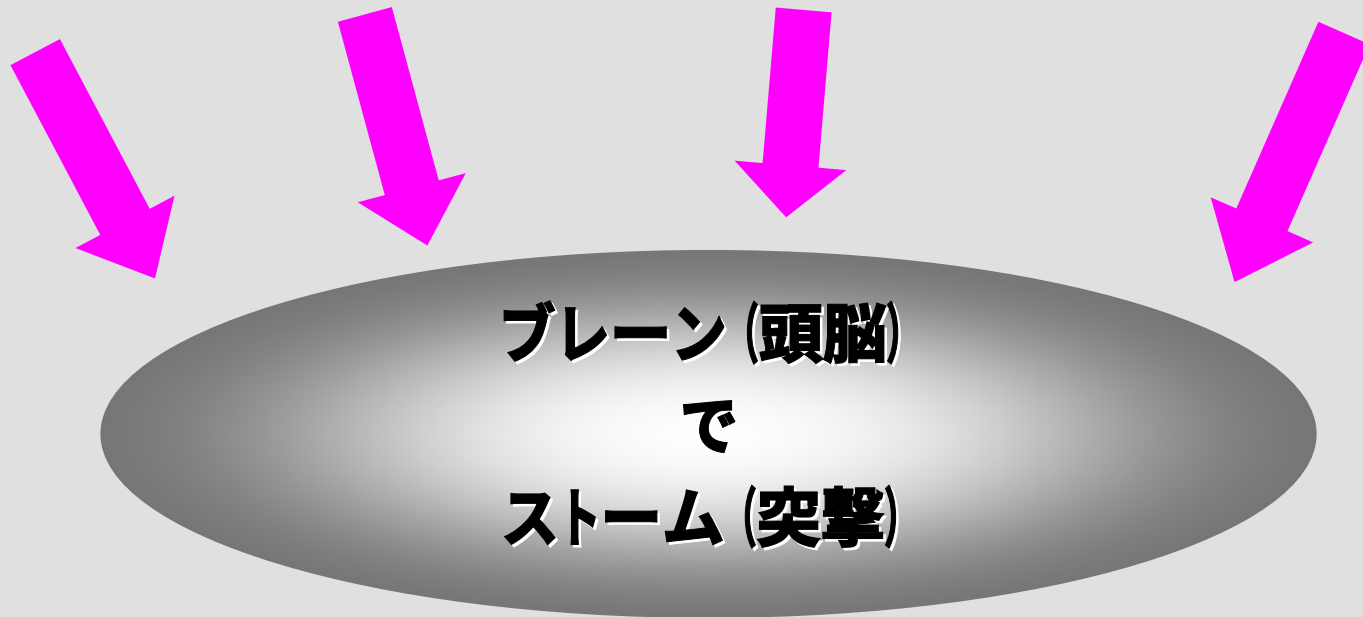
新鮮な意見、自由な意見

首長の思い

市の動向

他団体の動向

情報システム等の課題



SWOT分析

「彼を知り己を知れば、百戦殆うからず」

- **内部環境分析**

- 市役所、市の能力を分析する・・・己を知る
- 人、物、金、情報、産業、文化を含む市の総合力
- 強み、弱みとしてまとめる

- **外部環境分析**

- 市役所、市のおかれた環境変化が市の運営にどのような影響を与えるか予測する・・・彼を知る
- マクロ (国際、全国、政治等)、ミクロ (産業、業界、市場等) 環境要因
- 事業機会、脅威 (成長を阻害する変化) としてまとめる

SWOT分析

S (Strength: 強み)

己の強み
(あまり議論されていない)

O (Opportunity: 機会)

彼のなかの事業機会

W (Weakness: 弱み)

己の弱み
**(お酒の席で共有化が
行なわれやすい)**

T (Threat: 脅威)

彼が与える阻害要因

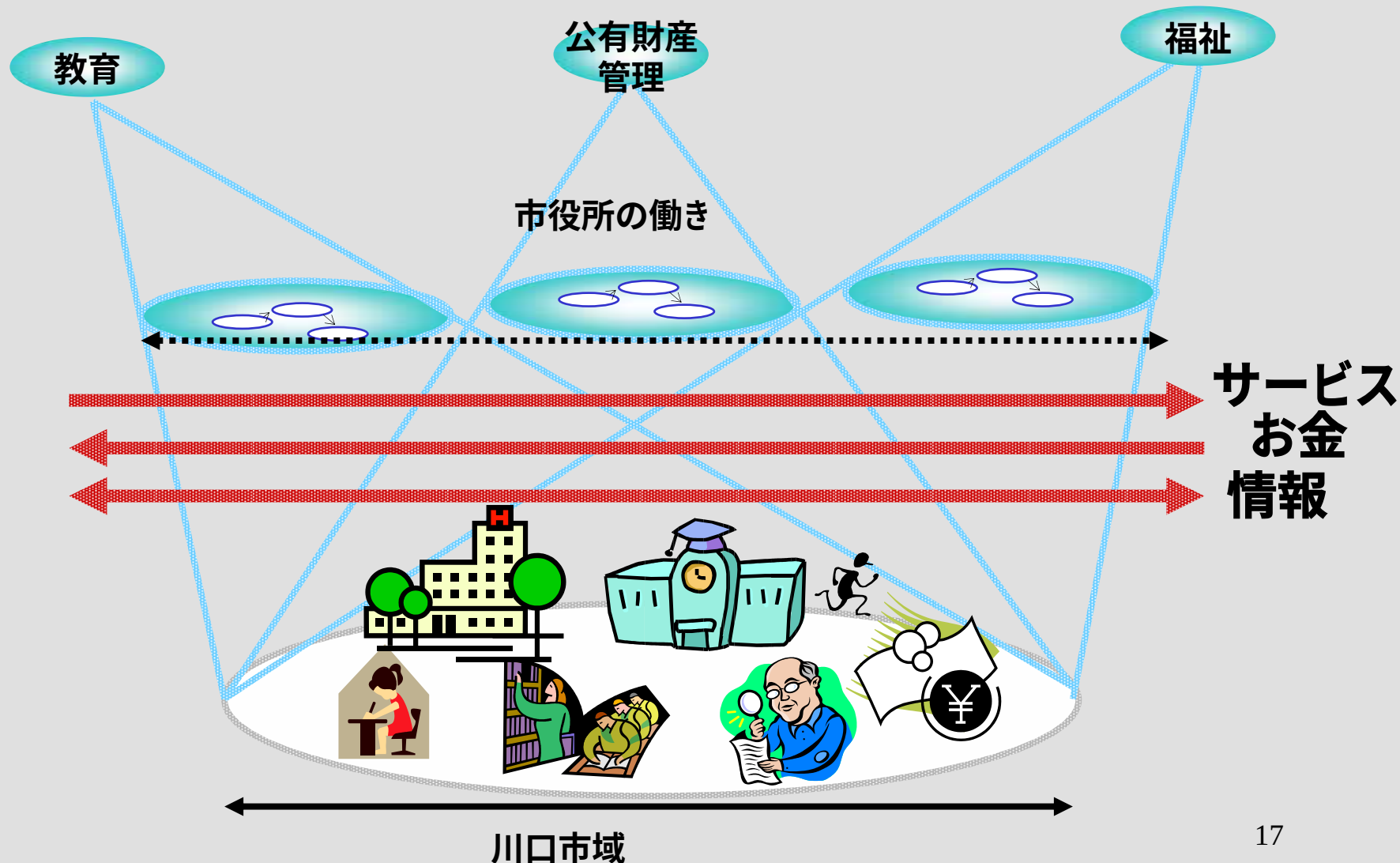
カード作成

● カード作成の要領

- S、W、O、T毎にそれぞれ各自の思いを書く。
 - 市役所内部をみた強み4枚、弱み4枚
 - 市域内部をみた強み4枚、弱み4枚
 - 市役所外部をみた機会3枚、脅威3枚
 - 市域外部をみた機会3枚、脅威3枚
- 1枚のカードは、40字以内、一つの項目のみ示す。
(・・・が強い、・・・が弱いなど)
- 市(市役所と市域の能力(内部)、外部環境の区分をよく考えて書く。
(機会、脅威は外部環境。強み、弱みは内部環境)
- S、W、O、Tの区分は、カードの右下に示す。

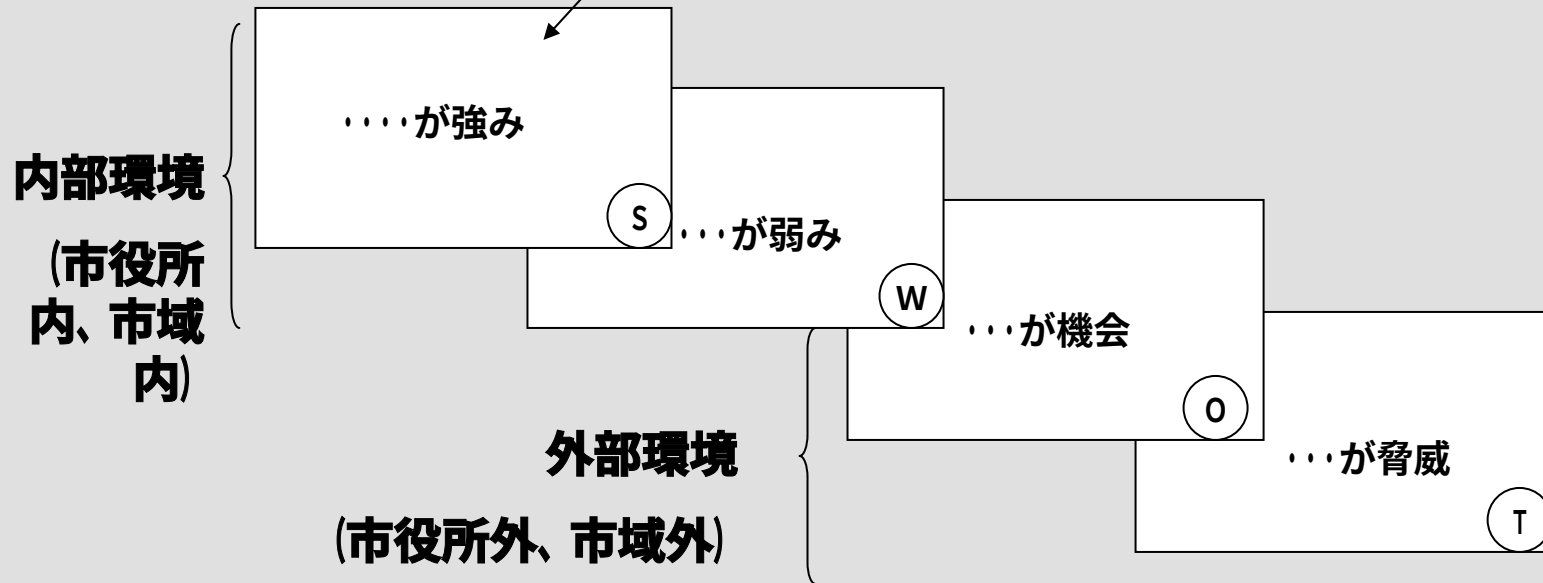
市民サービスの向上

公有財産を活性化させるには



カード作成のポイント

40字以内、ひとつの項目のみ示す。



カード合わせのポイント

- S、W、O、T毎にカードを集め、参加者に均等になるようにくばる。
- 配られたカードを良く読み、2項目以上の内容が書かれていれば2枚のカードに分割する。
S、W、O、Tの区分もチェックする。
- 親を決め、一つのカードを親が読み、それと類似のカードを持っている参加者はカードを出す。カードが無くなるまで繰り返す。(山を作る)
- 親のカードが無くなれば他の参加者が親になる。

カード合わせのポイント

- 各山をもう一度読み、調整をする。
- 相互関係のあるカードの山を隣接するように配置する。
- 山をくり、そのラベルカードを作る。
- 相互関係 (主従、反対を示す)
- 大きなくくりで4～5個に整理する。
- シナリオのキャッチフレーズを作る。
- 山からはずれた一枚のカードも大切にする。
(後で重要なカードになる可能性がある)

シナリオ作りのポイント

キャッチフレーズ

